

教育部会

令和6年度 活動計画

地域サポートセンター 仲よし
川口 芳美

【活動目的】

- ①学校間(市と県、小・中・高)の連携、および教育と福祉の連携を深めると共に、地域ごとに児童・生徒を支えていくための仕組みづくりを行う。
- ②特別支援学校高等部3年間で、福祉制度等の必要な情報提供と相談窓口へのつなぎを行う。

【活動内容】

- ・教育と福祉の連携における課題について、個別支援よりも大きな枠組で捉えて検討する。検討した結果を関係機関で共有する。
- ・協議会の各専門部会との連携、他機関への働きかけを行う。

【構成員】

- ・ 旭川荘療育・医療センター顧問
- ・ 岡山市障害福祉課
- ・ 岡山市教育委員会
- ・ 岡山県教育庁特別支援教育課
- ・ 特別支援学校 8 校（岡山市に所在地がある学校）
- ・ 相談支援事業所 5 ヶ所（各地域部会より）
- ・ 岡山市障害者基幹相談支援センター



【開催】 2ヶ月に1回 旭川荘 等にて

令和6年度の活動計画

1. 教育と福祉の連携の推進

◎ワーキンググループによる活動の実施

WG①協議会HP『え～んじゃネット』を活用した情報発信

- ・福祉サービス説明資料（フクセツ）の改訂（広報部会との連携）
- ・福祉サービス説明資料の学齢期版の作成
- ・トライアングルプロジェクトについての情報提供

令和6年度の活動計画

1. 教育と福祉の連携の推進

WG②座談会の開催

- ・ 教員と相談支援専門員が相互に学べる場、
話せる場（**座談会**）を実施（年2回予定）
- ・ 連携の好事例の活用



◎教育と福祉の連携を深めるための研修会の実施

令和6年度の活動計画

2. 特別支援学校の学校行事の実施

- ・福祉制度説明会、地区別懇談会、移行支援会議の実施（高等部）
- ・生活介護事業所説明会の実施

3. 地域課題の検討

他の部会から挙げられた地域課題について情報交換や検討を行う。

4. 医療的ケア児の支援に関する検討

医療的ケア児WGに参加し、学齢期の医療的ケア児の課題を検討する。